

保険者と介護支援専門員協会の連携による介護給付適正化の取組事例

【島根県大田市】

● 概要

ケアプラン点検を「指導」の場から「支援」の場へと転換するため、研修会や意見交換会を行っている。

● 実施状況

① ケアプラン点検担当職員研修会

テーマ「ケアプラン点検の意義・目的の再確認」

- ・点検を通じたケアマネ支援の基本姿勢
- ・ケアマネジメントプロセスの基礎

対象：ケアプラン点検担当職員（市町村職員）

県内ケアマネ協会員

講師：山口県介護支援専門員協会 常任理事

方式：現地＋WEB 開催（ハイブリッド形式）

② 意見交換会

対象：保険者ケアプラン点検担当職員（市町村職員）

ケアマネ協会員

※島根県「大田圏域」関係者による現地での対面方式

内容：実際のケアプラン点検の運用や課題の共有

次年度のケアプラン点検に向けた改善点の整理

● 効果

① ケアプラン点検担当職員研修会

保険者（市町村職員）とケアマネ協会の双方が、ケアプラン点検の意義や目的の再確認でき、共通理解が形成された。

② 意見交換会

対面の意見交換をすることにより、より協働しやすい関係性が形成された。

令和7年度介護給付適正化中国・四国ブロック研修会



保険者と介護支援専門員協会の連携による 介護給付適正化の取組事例

～ケアプラン点検担当者研修会と意見交換会を通じて～

島根県健康福祉部高齢者福祉課
計画推進係 家本 啓佑

背景・課題



- ・ 保険者によりケアプラン点検の実施状況や方法にばらつきがある。
- ・ ケアプラン点検を受ける現場の介護支援専門員（ケアマネ）からは、「指導的」「一方的」との印象がある。

 ケアプラン点検を「指導」の場から「支援」の場へと転換することが求められている。

取組



- ①ケアプラン点検担当職員研修会
- ②意見交換会

令和7年7月16日(水) 13:30~16:30

ケアプラン点検担当職員研修会



テーマ「ケアプラン点検の意義・目的の再確認」

- ・点検を通じたケアマネ支援の基本姿勢
- ・ケアマネジメントプロセスの基礎

**対象：ケアプラン点検担当職員（市町村職員）
県内ケアマネ協会員**

講師：山口県介護支援専門員協会 常任理事

方式：現地＋WEB開催（ハイブリッド形式）

ケアプラン点検担当職員研修会



外部講師

山口県ケアマネ協会
常任理事

保険者
(市町村職員)

ケアマネ協会

内容（概要）：ケアプラン点検の基本的知識や進め方



研修会の成果

保険者（県内市町村職員）とケアマネ協会の双方が、
ケアプラン点検の意義や目的の再確認ができ、共通理解が形成された。

保険者 (市町村職員)

- ・ ケアマネの視点を理解し、ケアプラン点検の意義を知ることができた。
- ・ ケアプラン点検は、指導ではなく支援であり、保険者からの発言は、ケアマネに大きな影響を及ぼす場合があるため、細心の注意を払う必要があることを再認識した。

ケアマネ協会

- ・ 研修を通じて、ケアプラン点検における具体的な視点や確認方法を改めて学ぶことができた。
- ・ ケアプラン点検の目的が、保険者による指導ではなく支援であることが分かった。保険者と一緒に課題解決への糸口を今後探していきたい。

※事後アンケート調査結果より抜粋

意見交換会



**対象：保険者ケアプラン点検担当職員（市町村職員）
ケアマネ協会員**

※島根県「大田圏域」関係者による現地での対面式

**内容：実際のケアプラン点検の運用や課題の共有
次年度のケアプラン点検に向けた改善点の整理**

意見交換会



ケアマネ協会

島根県（高齢者福祉課）

保険者
（市町村職員）

意見交換内容（例）

- ・ 人事異動で新たに担当になり、ケアプラン点検に関する専門的な知識を習得することや、経験を積むことが難しい（保険者）
- ・ 実際のケアプラン点検のポイントが分からず、ケアマネは何を準備しておけばいいですか？（ケアマネ協会）

意見交換会の成果



対面の意見交換をすることにより、より協働しやすい関係性が形成された。

保険者
(市町村職員)

- ・ ケアマネや事業者の考えを直接聞くことで、理解が深まった。
- ・ 顔を合わせて話すことで協働の方向性が見えた。

ケアマネ協会

- ・ 市町村職員と直接話すことで、相談しやすい関係ができた。
- ・ 自分以外のケアマネの思いや考えを聞いたりすることで、新たな気づきや情報を得ることができました。やはり一緒に学ぶことや対話することが必要だと思います。
- ・ なかなか当事者同士ではこうした会は開催しにくいので、県が開催してもらえたことはとても意義深いと思った。

※事後アンケート調査結果より抜粋

総括



- ・ 保険者（市町村職員）とケアマネ協会の双方が、ケアプラン点検の意義と目的の再確認ができ、**共通理解が形成**された。
- ・ 両者が顔を合わせて対話することで、相談・情報共有のハードルが下がり、**日常的にも連携**しやすくなった。